

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新河岸校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 3日 ～ 2025年 11月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 10月 28日 ～ 2025年 11月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様のことを十分に理解し、 お子様の特性等に応じた専門性のある支援を提供すること	日々の支援内容の伝達だけではなく、おうちでのご様子や学校 でのご様子をお伺いすることで、お子様が抱える困り感や課 題、保護者様のお悩みについて共感的理解ができるよう取り組 んでおります。	お子様の特性や課題感を的確に理解し、お子様に合わせた支 援を行うことが出来るよう、引き続き努めて参ります。
2	事業所を利用する際の運営規程、支援プログラム、利用者負担 等についての説明、及び個別支援計画作成までの対応	お子様の成長や現在の課題感に即した個別支援計画が作成され るよう、お子様に関わることを包括的にお伺いし、保護者様 のお悩みやお子様の課題を汲み取り、お子様の発達に合わせて個 別支援計画を作成し、ご説明しております。	皆様に分かりやすく齟齬のない個別支援計画を作成し、丁寧 なご説明を継続して参ります。
3	教室の安定的運営にかかる安全管理全般	皆様に安心してご利用いただくため、個人情報やプライバシー に厳重な取り扱いを徹底し、必要に応じてご説明をしておりま す。	ご利用者様やご契約者様の安心・安全を第一に考え、引き続 き安全計画に基づいた教室運営と個人情報の厳重管理を継続 して参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他 のこどもと活動する機会が十分でない。	現在ご契約をいただいている保護者様からのご要望がない。	ご要望を複数件承った場合、実施について検討いたします。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者 同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が十分では ない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょう だい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支 援がされていると感じられない。	現在ご契約をいただいている保護者様からのご要望がない。	ご要望を複数件承った場合、実施について検討いたします。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その 他必要な訓練が行われているかわからない。	毎月の定期訓練実施のお知らせを掲示しているが、他の掲示物 等もあり分かりにくい掲示となっている。	SNSの活用を検討の上、皆様により安心してご利用いただけ るよう努めて参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数		回収数	
こどもサポート教室「きらり」新河岸校		2026 年 2 月 14 日					7名		7名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	0	特記なし			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	2	0	0	特記なし		ご利用の皆様が十分に支援に意識を向けることが出来るよう、適切な環境設備を務めて参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0	息子の得意、不得意な事を十分に理解していただき支援していただけていると思います。		お子様の特性や課題感を的確に理解し、お子様に合わせた支援を行うことが出来るよう、引き続き努めて参ります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	2	0	0	特記なし			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	2	2	特記なし		ご要望に応じて機会を設けることが出来るよう、検討して参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0	特記なし			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0	必要に応じて計画を見せてもらっています。		個別支援計画と乖離することのないよう、計画を参照しながら引き続きお伝えをして参ります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	0	3	特記なし		ご要望に応じて機会を設けることが出来るよう、検討して参ります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0	特記なし			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	1	4	特に希望しません。 保護者同士の交流の機会等は特に求めていない。		ご要望に応じて対応させていただいております。 また今後につきましてもご要望に合わせて随時検討をさせていただきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	1	特記なし			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	2	特記なし	開かれた事業所として各種SNSの定期的な活用を継続し、よりご利用の皆様に分かりやすい情報開示を検討して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	2	特記なし	契約時のご説明・訓練実施時の周知を継続するとともに、SNSやHP掲載等を活用し、皆様にご理解いただける周知を心がけて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	3	特記なし	契約時のご説明・訓練実施時の周知を継続するとともに、SNSやHP掲載等を活用し、皆様にご理解いただける周知を心がけて参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0	特記なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	2	特記なし	事故が発生した場合、引き続き迅速な対応とご報告を徹底し、安心してご利用いただけるよう運営して参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0	特記なし	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	1	特記なし	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	特記なし	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 2 月 14 日				
事業所名		こどもサポート教室「きらり」新河岸校				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適宜配置換えを行い、支援スペースは確保した上で運営を行っている。	児童の安全やその時々状態に応じて適切な支援スペースが確保できるよう、配慮を継続して参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事前に計画を立て、利用者一人につき職員一人が必ずつけるよう体制を整えている。	今後も適切な人員配置の下支援が行うことができるよう、教室を運営して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	構造化についてはご利用のお子さまにもわかる形で工夫されているが、バリアフリー対応ができる建物ではない。	ご利用の皆様が十分に支援に意識を向けることが出来るよう、適切な環境設備を務めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に合わせ、教室の使い方やブースを変化させながら運営している。	皆様が安心して支援を受けることができるよう、衛生環境に配慮した運営を継続して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて可能な限り配慮を行っている。	それぞれの支援内容に十分に意識を向けることが出来るよう、適切な環境の設定を継続して参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に目標設定と自己評価が行われている。	設定された目標に対し各自が達成できるよう、定期的に話し合いの場を設け、業務改善へと繋げて参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務改善の結果が保護者の方へも伝わるよう工夫する必要はあるが、毎年必ず行われている。	保護者様からの意見には職員間で情報共有を行い、日々の業務改善を継続して参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		形式は様々だが、都度意見を聞いて進んでいる。	職員それぞれが意見を述べる機会を継続して設けながら、よりよいサービスへと反映できるよう継続して参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状第三者評価の実施はない。	現在は実施をしておりますが、今後に必要なに応じて実施ができるよう体制を整えて参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月社内研修が行われており、そちらへ参加することで資質向上へ繋げると共に、外部研修についても申請次第で参加が可能となっている。	発達研究所主催の研修や事業所内研修、外部研修等の参加機会の維持を継続して参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所HPにて公開を行っている。	本社の方針や事業所の運営方法を適宜確認しながら、必要に応じて見直し、公表を継続いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者の意見や利用者の今の状態などを話し合い、児童発達支援計画を作成している。	アセスメントや計画作成において客観的視点を持ち、お子様の発達や課題に即した計画の立案を継続して参ります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で振り返りを行い、新しい課題や継続していく上での内容の見直しをおこなっている。	ご利用の皆様の中での最善の利益を念頭に、よりよい発達を促すことができるよう、継続して参ります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画作成後は個人ファイルだけでなく支援用ファイルにも保存し、毎回の支援に反映することが出来るよう取り組んでいる。	個別支援計画に沿った支援を今後も提供できるよう、振り返りを継続して参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		利用者の行動や気持ちの変化については記録にした上で必要な事は情報共有をしている。書式としてはアセスメントと記録のところで確認出来るようになっている。	お子様の成長に合わせた適切なアセスメントを行い、個別支援計画や支援へ適切に活かすことができるよう、今後も継続して参ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員間で共通認識をもち、適切な内容に設定されている。	お子様の状況や皆様のご希望に即しながら、複合的な視点を持った個別支援計画の作成を継続いたします。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全体で共有し、お子様に合わせた活動を取り入れていけるようにしている。	支援内容へのご希望やご相談があった際の全体共有を行い、支援の方向性を確認・立案を継続して参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		できるようになったことや難しい事への取り組みなどを共有し、楽しみながら課題に取り組めるように工夫している。	今後も楽しくお通いいただけるよう、お子様のお好みに合わせた支援の提供を継続して参ります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		定期的に小集団を行い、子供の状況に応じた支援を行っている。	小集団療育を定期的に行うことで、集団生活における課題を詳細に把握し、適切な個別支援へと還元できるよう継続して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	必ず打ち合わせが出来ている訳ではないので、情報共有は常におこない、連携をして支援をおこなっている。	社内の連絡ツールを活用し、業務分担や情報共有を徹底できるよう、継続して参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	必ず打合せ出来るわけではないので気づいた点や申し送りは全体で分かるように共有している。	必要に応じて、支援終了後や空きコマを利用した打ち合わせの機会を設け、申し遅れに漏れないよう継続して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		次の支援内容に繋げていけるような記録をしている。	支援終了後は記録の入力を徹底し、支援の質の向上のため参考にするを継続して参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを行い、その結果について職員全体に周知している。	お子様の成長や現在の課題感に即した個別支援計画が作成されるよう、定期的なモニタリングを継続して参ります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子どもの状況を全体で話し合い、共有した上で理解しているものが参加している。	お子様のよりよい発達の為、お子様を多角的に捉えた状態で皆様とかがかりが持てるような対応を継続して参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様のご要望に応じて、障害福祉・保育・教育等の関係機関連携を実施している。	今後とも要望に応じて実施することができるよう、体制を継続して参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		お子様の発達や生活年齢に合わせて支援及び連携を行っている。	ご利用いただいている皆様が安心して生活することができるよう、インクルージョン推進の観点を持った支援も実施することを継続して参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	ご希望に応じて実施する体制はあるが、前例はない。	ご希望に応じて対応ができるよう、今後も継続して参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		今年度秋から連携を強化しているが、機会はあまり多くない。	必要に応じて連携を取ることができるよう、体制を整えて参ります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	外部イベントとして実施はしているものの、事業所の特性上難しいことや、ご契約者様からのニーズとして承っていないことから、外部のお子様と活動の機会は少ない。	必要に応じて機会を設けることができるよう、検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックにてお子様の状況をお伝えし、また保護者の方からご家庭での様子や教育機関での様子をお伺いし、お子様の課題に対して常に共通理解を示すことができるよう運営している。	お子様を多角的に捉えるため、保護者様との共通理解が常に為されるよう、継続して参ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所としての開催は行っていないが、保護者の方のご希望に応じて、地域で開催される研修やイベント情報の提供を個別に行っている。	必要に応じて機会を設けることができるよう、検討して参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		変更の都度、変更点について個別にご説明を申し上げ、不明点のお伺いを立てている。また、支援プログラムや利用者負担に關してもその都度の説明と不明点の聞き取りを行っている。	ご契約をいただいている皆様に齟齬のないよう、丁寧な説明を継続して参ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングを毎回行い、ご本人様やご契約者様のご要望を確認し、支援者からの見通しと擦り合わせながら個別支援計画の作成を行っている。	お子様や保護者様のご意思の捉え違いのないよう、今後も丁寧なモニタリングを継続して参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児発管よりモニタリングと専門家支援会議の内容を踏まえて作成された個別支援計画を、一つ一つご説明した上で御同意をいただいている。	皆様に分かりやすく齟齬のない個別支援計画を作成できるよう、継続して参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		通常時のフィードバックに加え、必要に応じて家族支援を行うことで、子育て支援や社会資源との連携の仕方について等の助言を行っている。	支援後のフィードバックだけでなく、家族支援等を活用して家族の悩み等に対応できる体制を継続して参ります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在は行っていないが、ご要望が一定数あれば開催を検討する。	必要に応じて機会を設けることができるよう、検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		通常時からご要望やご相談をごまめに行い、次回支援へ反映させていると共に、事業所として対応が必要なものに関しては職員間で検討を行った上迅速な対応を行っている。	支援後のフィードバックだけでなく、家族支援等を活用して家族の悩み等に対応できる体制を継続して参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		必要に応じて事業所からお知らせを配布すると共に、半月に一回のペースでSNSとブログの更新を行っている。	定期的なブログやInstagramの更新、連絡ツールとしてのLINEの活用を継続し、開かれた事業所として継続して運営して参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関わるものは必ず鍵のかかる書庫にて保管をし、閉所時には書庫の鍵についても鍵のかかる場所へ保管している。	個人情報の漏えい・紛失等がないよう、取り扱いには細心の注意を払うことを継続して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者様一人一人に合わせ、十全に意思疎通を取ることができるよう可能な限り対応を行っている。	今後も安心してご利用いただけるよう、お子様それぞれに合わせた対応を継続して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は行っていないが、ご要望が一定数あれば開催を検討する。	必要に応じて機会を設けることができるよう、検討して参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		月に一回防災訓練をおこない、その時に緊急時対応も含め職員で共有をしている。定期的に研修を行っている。	契約時のご説明・訓練実施時の周知を継続するとともに、SNSやHP掲載等を活用し、皆様にご理解いただける周知を心がけて参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1回非常災害訓練を行い、確認をしている。新規職員には避難の仕方や場所などを周知している。課題があった場合は職員間で意見を出し合い事業所の中で出来る適切な方法を考えている。	計画に基づいた定期的な訓練実施を継続し、ご利用いただいている皆様に安心してご利用いただけるよう引き続き努めて参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬について定期的に確認し、職員間で周知徹底をしている。	服薬状況や病状について定期的な確認を継続して参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食品の取り扱いなし。	必要に応じて機会を設けることができるよう、検討して参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間計画に基づき、防災訓練が定期的の実施されている。	安全管理を十分に行った上で支援を提供できるよう、継続して参ります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に必ずご説明申し上げると共に、訓練実施の際は教室掲示にて周知を行っている。	皆様に安心してご利用いただけるよう、適切なご説明と周知を継続して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生時に勤務していた職員には当日中、そうではない職員には後日必ず共有をしている。再発防止策も考えすぐに実行できる状況を作り対応している。	皆様に安心してご利用いただけるよう、ヒヤリハット発生時の情報共有や報告書の作成の徹底を継続して参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な研修を行っている。	適切な教室運営を目指し、定期的な研修の実施を継続して参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に必ずご説明させていただくとともに個別支援計画への記載と別途同意書を頂いている。研修等を通じて身体拘束を避ける関わりについて意見交換の場を設けている。	状況に応じた適切な対応を取ることができるよう随時検討を継続するとともに、保護者の方への事前説明や個別支援計画や同意書への記載を継続して参ります。